

後援・推薦に係る審査結果報告書

資料1

No.	申請日	申請者	行事名	会場・開催日時	行事の目的・対象・内容等	入場料	新規継続	承認区分及び決定日	審査結果
1	平成26年10月24日	尾張マーブルタウン学生部会 山崎裕香	愛知学院マーブルタウン～ボクたちワタシたちが作る町～	愛知学院大学日進キャンパス 平成26年12月20日(土)	○ 小学校1～6年生を対象とし、地域の小学生の健全育成に寄与することを目的としている。 小学生たちがドイツミニミュンヘンを模したマーブルタウンという疑似都市を作り上げる。参加する小学生は、公共事業を請け負ったり、町長選挙に参加したり、起業(出店)したりする。	無料	新規	後援 平成26年11月25日	※平成26年11月20日(木)意見交換済。 「尾張マーブルタウン学生部会」は今回のイベントを開催するために2014年10月に結成された学生団体である。子どもたちが自分で仕事をして自分で問題を解決するという行動を通し、自主性を育むきっかけとなることを目的とする催し物であるため、後援することが適当である。
2	平成26年10月30日	子育て支援ネット・ながくて 田端香代子	第7回 ながくて子育てフェスタ	長久手市福祉の家 平成27年1月15日(木)	○ 子どもと関わっている方を対象とし、インターネット社会における人とのつながりの大切さを考えることを目的としている。 NPO法人あそび環境Museumアフタフ・バーバン専任スタッフ北崎圭太氏が講師を務め、ワークショップ形式でインターネット、ゲームとどう向き合っていくかを導き出していく。	¥700	新規	後援 平成26年11月25日	※平成26年11月20日(木)意見交換済。 子育て支援ネット・ながくては、親と子の健やかな成長を願い、子育てについて互いに支援・援助し合うことを目的に主に長久手市内の団体が加入している。「ながくて子育て支援フェスタ」は2年に一度開催しており、前回も後援実績がある。子どもの心とインターネット、ゲームの影響を考えることを目的とする催し物であるため、後援することが適当である。
3	平成26年10月26日	音楽工房VIVO ○勉強会 樋口利江子	音楽工房VIVO勉強会 第2回	長久手市福祉の家ボランティア活動室 平成26年11月30日(日)	○ 障がい児の保護者、療育・教育関係者、一般市民を対象とし、こころの問題に対処する方法を学ぶことを目的としている。 臨床心理士である安田淑恵氏が講師を務め、「こころの相談室」というテーマで、子どもの成長における不安や悩みなど、日常生活において誰もが抱える心の問題について講演を行う。	¥500	継続	後援 平成26年11月6日	音楽工房VIVOは、これまでCONで行っていた音楽療法を主軸としたイベントや演奏活動の充実、及び子どもたちの成長発達をこれまで以上に支えていきたいとの思いより平成26年1月に特定非営利活動法人の認証を得た。今年度後援実績があり、子どもたちを理解し、成長発達を支援していくことを目的とする催し物であるため、後援することが適当である。

No.	申請日	申請者	行事名	会場・開催日時	行事の目的・対象・内容等	入場料	新規 継続	承認区分 及び決定日	審査結果
4	平成26年 11月14日	栄徳高等学校 木村久和	栄徳高等学校吹奏楽 部第14回定期演奏会	長久手市文化の家 平成27年3月20日 (金)	○ 栄徳高等学校生徒、保護者、一般市民 を対象とし、教育活動の成果を披露する ことで、生徒の健全な発育に資すること を目的としている。 3部編成(第1部:吹奏楽ステージ、第 2部:ドリルステージ「エキゾチック・ ジャパン」、第3部:ポップスステージ 「ミュージカル音楽」)で吹奏楽演奏を 行う。	無料	継続	後援 平成26年 11月19日	前年度後援実績があり、日常の 活動の成果を発表すると共に、 教育活動の一環として生徒の健 全な育成を期することを目的と する催し物であるため、後援す ることが適当である。
5	平成26年 11月20日	長久手おやこ劇 場 木本直子	長久手おやこ劇場 2015年 春の例会	長久手市文化の 家、うりんこ劇場 平成27年3月1日 (日)、平成27年 3月15日(日)	○ 長久手市及び近郊に住む親子を対象と し、子どもの年齢に応じた舞台鑑賞会を 開き、感性を豊かにする。 ・0歳～小学3年生対象「いかりのギョー ザ」 人形劇団どむならんによる、仕掛けいっ ぱいの楽しい舞台。 ・小学4年生以上対象「妥協点P」 劇団うりんこによる東海地区の中・高校 生と演出家がワークショップを重ね、書 き下ろされた作品。	入会金： ¥1,000 月会費： ¥1,200	継続	後援 平成26年 11月27日	今年度後援実績があり、子ども の感性を豊かにすることを目的 とする催し物であるため、後援 することが適当である。